

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月12日

上場会社名 株式会社大戸屋ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2705 URL https://www.ootoya.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 松岡 彰洋 (TEL) 0422(26)2600
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|-------|------|-------|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 12,319 | △3.3 | △187 | — | △181 | — | △174 | — |
| 2019年3月期第2四半期 | 12,736 | △1.6 | 107 | △52.1 | 134 | △43.5 | 67 | — |

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △163百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 57百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | △24.05 | — |
| 2019年3月期第2四半期 | 9.31 | 9.31 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 9,405 | 4,298 | 45.3 |
| 2019年3月期 | 9,815 | 4,625 | 46.7 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 4,259百万円 2019年3月期 4,581百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | — | 0.00 | — | 25.00 | 25.00 |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | | | |
| 2020年3月期(予想) | | | — | 25.00 | 25.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|--------|------|--------|-----------------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | 円 銭 |
| 通期 | 25,000 | △2.8 | 0 | △100.0 | 0 | △100.0 | 0 | △100.0 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年3月期2Q | 7,246,800株 | 2019年3月期 | 7,236,300株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年3月期2Q | 1,237株 | 2019年3月期 | 337株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年3月期2Q | 7,239,324株 | 2019年3月期2Q | 7,202,768株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (重要な後発事象) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦や世界経済の減速傾向が企業業績に影響し始めているものの、全体としては緩やかな回復基調が継続しております。しかしながら、雇用環境の改善が個人消費の回復には結びつかず、力強さに欠ける動きとなっております。また、10月に実施される消費税増税が及ぼす影響もあり不安定な状況が続きました。

外食産業におきましても、個人消費が十分に回復しない中、食材価格の高止まりや人手不足の恒常化による人件費の上昇に加え、他業態との顧客獲得競争がさらに激化し、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの当連結会計年度は、「家庭食の代行業から健康提供企業へ」をコンセプトとした新たな3ヵ年の「中期経営計画『改革』Ⅰ期～『改革』Ⅱ期～『飛躍』期」の『改革』Ⅱ期にあたり、新たに「もうひとつの食卓」を大戸屋ごはん処のビジョンに掲げ、日本の食卓課題を解決する家庭食のインフラ企業として確固たるブランドを確立すべく店舗価値の向上や人材の育成に取り組みました。4月には「もうひとつの食卓」を体現するグラントメニューの改定を行いました。また、期間限定メニューや季節のデザートの販売、新たなポイントサービスの導入などの施策を行いました。しかしながら、国内事業の既存店売上高は思うように回復せず、加えて9月に販売予定であった恒例の「生さんま炭火焼定食」がさんまの不漁により販売できなかったことや台風等の自然災害の影響等もあり、売上高、利益ともに前第2四半期連結累計期間を下回ることとなりました。

当第2四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、国内におきまして、「大戸屋ごはん処」6店舗（直営2店舗、フランチャイズ4店舗）を新規に出店し、9店舗（直営6店舗、フランチャイズ3店舗）が閉店いたしました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は当社グループ合計で466店舗（うち国内直営143店舗、国内フランチャイズ207店舗、海外直営14店舗、海外フランチャイズ102店舗）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は12,319百万円（前年同期比3.3%減）、営業損失187百万円（前年同期は営業利益107百万円）、経常損失181百万円（前年同期は経常利益134百万円）となり、特別損失に28百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は174百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益67百万円）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① 国内直営事業

国内直営事業は、町田東口店を「もうひとつの食卓」をイメージした店舗に改装する等の取り組みを行いましたが、既存店売上高は思うように回復いたしませんでした。

店舗展開につきましては、「大戸屋ごはん処」2店舗（京都北大路ビブレ店、モレラ東戸塚店）の新規出店があり、国内直営事業でありました1店舗（イオンモール浜松志都呂店）が国内フランチャイズ事業となりましたが、国内フランチャイズ事業でありました2店舗（中目黒店、仙台マーブルロード店）について国内直営事業としました。また、6店舗（北浦和店、仙台定禅寺通り店、聖蹟桜ヶ丘東口店、八王子店、武蔵境店、横浜元町店）が閉店いたしました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末における国内直営事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」140店舗、新業態3店舗となりました。

以上の結果、国内直営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は6,763百万円（前年同期比5.0%減）、営業損失は291百万円（前年同期は105百万円の営業損失）となりました。

② 国内フランチャイズ事業

国内フランチャイズ事業は、既存店売上高を回復すべく、地域限定メニューの販売などの販促施策を実施いたしましたが、思うような回復には至りませんでした。

店舗展開につきましては、「大戸屋ごはん処」4店舗（愛知和合店、佐賀南バイパス店、知寄町店、愛知蟹江店）の新規出店があり、国内フランチャイズ事業でありました2店舗（中目黒店、仙台マーブルロード店）が国内直営事業となりましたが、国内直営事業でありました1店舗（イオンモール浜松志都呂店）について国内フランチャイズ事業としました。また、3店舗（福岡飯倉店、イオンモール佐野新都市店、八柱店）が閉店いたしました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末における国内フランチャイズ事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」207店舗となりました。

以上の結果、国内フランチャイズ事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は3,875百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は415百万円（同14.5%減）となりました。

③ 海外直営事業

海外直営事業は、ベトナムにおける直営店舗展開を開始したほか、米国における事業拡大を図るため、ニュージャージー州に連結子会社を設立いたしました。香港においては発生したデモの長期化の影響がありました。

店舗展開につきましては、1店舗（ベトナム社会主義共和国ホーチミン市）の新規出店がありました。当第2四半期連結会計期間末現在、14店舗（香港大戸屋有限公司が香港に5店舗、OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD. がシンガポール共和国に3店舗、AMERICA OOTOYA INC. が米国ニューヨーク州に4店舗、M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. がタイ王国に1店舗、ベトナム社会主義共和国ホーチミン市に1店舗）を展開しております。

以上の結果、海外直営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,448百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は3百万円（前年同期は1百万円の営業損失）となりました。

④ 海外フランチャイズ事業

海外フランチャイズ事業は、引き続き各国のフランチャイズ加盟者とのより密接な連携強化に取り組みました。

店舗展開につきましては、8店舗（台湾3店舗、タイ王国3店舗、インドネシア共和国2店舗）の新規出店があり、3店舗（インドネシア共和国1店舗、台湾1店舗、ベトナム社会主義共和国1店舗）の閉店がありました。当第2四半期連結会計期間末現在、102店舗（タイ王国において46店舗、台湾において39店舗、インドネシア共和国において16店舗、中国上海市において1店舗）を展開しております。

以上の結果、海外フランチャイズ事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は114百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は53百万円（同8.6%増）となりました。

⑤ その他

その他は、タイ王国におけるプライベートブランド商品の輸入・販売事業であり、当第2四半期連結会計期間末現在、THREE FOREST (THAILAND) CO., LTD. がプライベートブランド商品の輸入・販売をタイ王国で行っております。

以上の結果、その他の当第2四半期連結累計期間の売上高は117百万円（外部顧客に対する売上高。前年同期比22.3%減）、営業利益4百万円（同66.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金1,924百万円を主なものとして3,581百万円(前連結会計年度末比12.4%減)、また、固定資産は、店舗等の有形固定資産3,155百万円と敷金及び保証金1,817百万円を主なものとして5,823百万円(同1.7%増)であり、資産合計では9,405百万円(同4.2%減)となりました。これは主に、現金及び預金が減少したためであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、一年内返済予定の長期借入金240百万円、買掛金988百万円及び未払金867百万円を主なものとして2,611百万円(前連結会計年度末比2.9%増)、固定負債は、長期借入金840百万円、資産除去債務506百万円を主なものとして2,494百万円(同5.9%減)であり、負債合計では5,106百万円(同1.6%減)となりました。これは主に、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は4,298百万円(前連結会計年度末比7.1%減)となり、自己資本比率は45.3%となりました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が減少したためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により145百万円を獲得し、投資活動により315百万円を使用し、財務活動により355百万円を支出した結果、1,835百万円(前連結会計年度末比22.4%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は145百万円(前年同期比65.4%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失209百万円を計上し、減価償却費382百万円等の非資金的費用がありましたが、未払金の減少による支出26百万円及び法人税等の支払による支出90百万円等があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は315百万円(前年同期比10.1%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出231百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、支出した資金は355百万円(前年同期比14.4%増)となりました。これは主に、借入金の返済による支出120百万円と配当金の支払額182百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では、2019年11月5日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,454,918 | 1,924,638 |
| 売掛金 | 901,041 | 908,785 |
| 原材料及び貯蔵品 | 65,114 | 95,684 |
| その他 | 677,784 | 659,400 |
| 貸倒引当金 | △11,147 | △6,835 |
| 流動資産合計 | 4,087,711 | 3,581,672 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,188,121 | 2,224,363 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 795,853 | 808,204 |
| その他（純額） | 81,951 | 122,923 |
| 有形固定資産合計 | 3,065,926 | 3,155,491 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 57,877 | 45,492 |
| その他 | 47,953 | 40,852 |
| 無形固定資産合計 | 105,831 | 86,344 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 1,871,043 | 1,817,928 |
| その他 | 695,142 | 774,277 |
| 貸倒引当金 | △10,356 | △10,356 |
| 投資その他の資産合計 | 2,555,829 | 2,581,849 |
| 固定資産合計 | 5,727,587 | 5,823,686 |
| 資産合計 | 9,815,298 | 9,405,359 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,016,328 | 988,635 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 240,000 | 240,000 |
| リース債務 | 98,124 | 79,110 |
| 未払金 | 707,345 | 867,208 |
| 未払法人税等 | 47,302 | 25,806 |
| 賞与引当金 | 66,053 | 85,416 |
| 店舗閉鎖損失引当金 | 6,942 | 8,515 |
| その他 | 355,923 | 316,981 |
| 流動負債合計 | 2,538,020 | 2,611,674 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 960,000 | 840,000 |
| リース債務 | 151,232 | 114,560 |
| 退職給付に係る負債 | 436,696 | 448,322 |
| 資産除去債務 | 503,864 | 506,377 |
| その他 | 600,088 | 585,688 |
| 固定負債合計 | 2,651,882 | 2,494,949 |
| 負債合計 | 5,189,902 | 5,106,624 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,512,753 | 1,522,796 |
| 資本剰余金 | 1,430,933 | 1,440,967 |
| 利益剰余金 | 1,563,153 | 1,208,155 |
| 自己株式 | △121 | △121 |
| 株主資本合計 | 4,506,719 | 4,171,798 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 201 | 333 |
| 為替換算調整勘定 | 103,198 | 109,869 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △28,554 | △22,953 |
| その他の包括利益累計額合計 | 74,844 | 87,249 |
| 新株予約権 | 196 | — |
| 非支配株主持分 | 43,635 | 39,687 |
| 純資産合計 | 4,625,395 | 4,298,734 |
| 負債純資産合計 | 9,815,298 | 9,405,359 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 12,736,497 | 12,319,154 |
| 売上原価 | 5,545,904 | 5,395,762 |
| 売上総利益 | 7,190,593 | 6,923,391 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,082,834 | 7,110,537 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 107,758 | △187,145 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 386 | 387 |
| 受取配当金 | 105 | 121 |
| 協賛金収入 | 19,351 | 15,823 |
| その他 | 12,153 | 8,845 |
| 営業外収益合計 | 31,996 | 25,177 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,282 | 5,161 |
| 為替差損 | 410 | 12,413 |
| その他 | 5 | 2,125 |
| 営業外費用合計 | 5,699 | 19,700 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 134,056 | △181,669 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 8 | 33 |
| 新株予約権戻入益 | — | 73 |
| 店舗売却益 | 2,976 | — |
| 特別利益合計 | 2,985 | 107 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,905 | 10,140 |
| 減損損失 | 2,343 | 4,307 |
| 店舗閉鎖損失 | 3,042 | 5,103 |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | 650 | 8,515 |
| 特別損失合計 | 7,941 | 28,066 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 129,099 | △209,628 |
| 法人税等 | 51,027 | △32,104 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 78,072 | △177,524 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 10,992 | △3,425 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 67,079 | △174,098 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 78,072 | △177,524 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 616 | 132 |
| 為替換算調整勘定 | △25,028 | 8,088 |
| 退職給付に係る調整額 | 3,837 | 5,600 |
| その他の包括利益合計 | △20,574 | 13,821 |
| 四半期包括利益 | 57,497 | △163,702 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 48,318 | △161,693 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 9,179 | △2,008 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 129,099 | △209,628 |
| 減価償却費 | 391,467 | 382,781 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △4,665 | △4,311 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 19,200 | 19,609 |
| 店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少) | 188 | 1,573 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 24,389 | 19,963 |
| 受取利息及び受取配当金 | △491 | △509 |
| 支払利息 | 5,282 | 5,161 |
| 新株予約権戻入益 | — | △73 |
| 店舗売却損益(△は益) | △2,976 | — |
| 固定資産売却損益(△は益) | △8 | △33 |
| 固定資産除却損 | 1,905 | 10,140 |
| 減損損失 | 2,343 | 4,307 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 99,527 | △6,819 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △12,271 | △30,675 |
| 預け金の増減額(△は増加) | 29,968 | 72,350 |
| 前受金の増減額(△は減少) | 1,259 | 40,620 |
| 前払費用の増減額(△は増加) | △87,769 | △50,979 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | △11,647 | 35,210 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △77,271 | △28,364 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △32,021 | △26,082 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | 16,064 | △47,043 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △48,341 | △4,766 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | — | △40 |
| その他 | △3,780 | △9,129 |
| 小計 | 439,453 | 173,259 |
| 利息及び配当金の受取額 | 378 | 420 |
| 利息の支払額 | △5,069 | △5,003 |
| 法人税等の還付額 | 85,640 | 67,439 |
| 法人税等の支払額 | △99,958 | △90,737 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 420,444 | 145,378 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 貸付けによる支出 | △1,990 | △1,940 |
| 貸付金の回収による収入 | 6,841 | 6,669 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △396,676 | △231,667 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △4,990 | △17,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 19,000 | — |
| 店舗売却による収入 | 52,946 | — |
| 長期前払費用の取得による支出 | △16,162 | △15,197 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △49,475 | △35,361 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 55,252 | 28,607 |
| 出店仮勘定の増加による支出 | △6,796 | △23,080 |
| その他 | △8,941 | △26,483 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △350,992 | △315,453 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 2,044,000 | — |
| 短期借入金の返済による支出 | △1,744,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △301,200 | △120,000 |
| リース債務の返済による支出 | △77,122 | △55,687 |
| 株式の発行による収入 | — | 2,410 |
| 配当金の支払額 | △179,609 | △180,215 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △52,780 | △1,939 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △310,712 | △355,433 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △9,250 | △4,891 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △250,511 | △530,399 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,994,770 | 2,365,826 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,744,259 | 1,835,426 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|------------|---------------------|------------|---------------------|------------|------------|------------|
| | 国内 直営事業 | 国内フラン チャイズ 事業 | 海外 直営事業 | 海外フラン チャイズ 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 7,121,631 | 3,950,031 | 1,398,576 | 114,750 | 12,584,989 | 151,507 | 12,736,497 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | 228,950 | 228,950 |
| 計 | 7,121,631 | 3,950,031 | 1,398,576 | 114,750 | 12,584,989 | 380,457 | 12,965,447 |
| セグメント利益又は損失(△) | △105,721 | 486,216 | △1,073 | 48,832 | 428,254 | 13,852 | 442,106 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業及びタイ王国におけるプライベートブランド商品の輸入・販売事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 428,254 |
| 「その他」の区分の利益 | 13,852 |
| セグメント間取引消去 | 14,535 |
| 全社費用(注) | △348,883 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 107,758 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|------------|---------------------|------------|---------------------|------------|------------|------------|
| | 国内 直営事業 | 国内フラン チャイズ 事業 | 海外 直営事業 | 海外フラン チャイズ 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 6,763,253 | 3,875,837 | 1,448,204 | 114,213 | 12,201,508 | 117,646 | 12,319,154 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | 3,219 | 3,219 |
| 計 | 6,763,253 | 3,875,837 | 1,448,204 | 114,213 | 12,201,508 | 120,865 | 12,322,374 |
| セグメント利益又は損失(△) | △291,356 | 415,538 | 3,452 | 53,008 | 180,642 | 4,603 | 185,246 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タイ王国におけるプライベートブランド商品の輸入・販売事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|--------------------|----------|
| 報告セグメント計 | 180,642 |
| 「その他」の区分の利益 | 4,603 |
| セグメント間取引消去 | △7,695 |
| 全社費用(注) | △364,696 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失(△) | △187,145 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。